

一般社団法人 岩の力学連合会
2024年度 第4回理事会
議事録

日時	2024年12月6日 14:30～	場所	資源素材学会 & Zoom
----	-------------------	----	---------------

理事会	理事長	岸田 潔	○	理事 (常任)	三谷 泰浩	W	理事 (常務)	佐藤 晃	○
	副理事長	岡田 哲実	○	理事 (常務)	末永 弘	W	理事 (常務)	木崎 彰久	W
	幹事長	升元 一彦	○	理事 (常務)	木梨 秀雄	W	理事 (常任)	安原 英明	W
	理事 (常任)	中村 和男	W	理事 (常務)	林 為人	○	理事	横尾 敦	×
	理事 (常務)	中島 伸一郎	W	理事 (常任)	陳 友晴	W	理事	佐原 圭介	×
	理事 (常務)	小川 浩司	W	理事 (常任)	藤井 義明	W	理事 (常務)	柚津 雄治	○
監事	細野 高康	○	監事	佐々木 憲司	W				

敬称略順不同, ○:出席, W: Web参加, ×: 欠席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 2024-理事-04-01	2024年度第3回理事会議事録
資料 2024-理事-04-02	個人・賛助会員数報告
資料 2024-理事-04-03	広報委員会名簿 2024-2025年 変更
資料 2024-理事-04-04	財政健全化に向けた正会員会費の値上げ
資料 2024-理事-04-05	正会員会費支払い方法の一部変更
資料 2024-理事-04-06	名誉会員規則の改定
資料 2024-理事-04-07	代議員選挙規程の改定
資料 2024-理事-04-08-1	2024年度岩盤工学基礎講座 実施要領案
資料 2024-理事-04-08-3	電子ジャーナル投稿様式_英語版
資料 2024-理事-04-08-4	賞選考員会資料
資料 2024-理事-04-08-5(1)	2025.2026 選挙管理委員会名簿
資料 2024-理事-04-08-5(2)	選挙公示・実施要領 2025
資料 2024-理事-04-08-8	第3回活性化企画特別委員会議事録案
資料 2024-理事-04-09	Commission on Bio-Rock Mechanics 説明資料
資料 2024-理事-04-10	JSRM2025_準備状況
資料 2024-理事-04-11	ARMS14 準備状況、および委員会規則と会計管理規程
資料 2024-理事-04-12	ARMS14 委員会規則と寄付金等管理規程 (会議後送付)
資料 2024-理事-04-13	ISRM Council Meeting / Asian Council Meeting
資料 2024-理事-04-14	CouFrac2024 報告資料 (会議後送付)
資料 2024-理事-04-15	地下空間シンポ後援依頼書

【審議・報告事項】※印は審議事項

1. 2024年度第3回理事会議事録の確認（資料 2024-理事-04-01）※
議事録が承認された。
2. 個人、賛助会員数報告（資料 2024 理事-04-02）
2024年12月2日時点の会員の入退会状況、会費滞納者、メールアドレス・住所不明者について確認された。
3. 広報委員会の委員の変更について（資料 2024-理事-04-03）※
委員の変更が承認された。なお、この変更は前回理事会9月13日に遡り承認とする。
4. 財政健全化に向けた正会員の会費の値上げについて（資料 2024-理事-04-04）※
財政健全化に向け、ISRM会費がここ数年の円安に伴い増加していること、個人会員費収入の割合が賛助会員費収入に比べかなり低いこと、から正会員の会費を現在の4,000円から5,000円に値上げる案が提案された。根本的な赤字解消の方策にはならないが、為替や物価の上昇から考えて、少しでも改善するためにはやむなしという意見が多く、5,000円に値上げの方向で承認された。会費の変更は理事会で決定できるが、会員からの理解をもらうため、事前に岩の力学ニュース等で周知を行い、2025年6月の社員総会で報告を行った後で変更することとする。そのため2026年度の会費納入からの値上げとする。次回理事会で、会費変更の会員への周知の文案を審議する。
5. 正会員会費支払い方法の一部変更について（資料 2024-理事-04-05）
銀行振り込みによる支払方法が、バンクチェックではなく連合会の口座に直接送金していただくことへの変更が報告された。
6. 名誉会員に関する規則の改定について（資料 2024-理事-04-06）※
提案された改定案について議論を行い、第3条の名誉会員の権利について、連合会への会費の納付は免除されてもISRMへの会費の納付は引き続き必要なこと、現名誉会員は規則にある名誉会員の権利を確認の上ご承諾いただいていること、から、「ただし、令和7年度以降名誉会員を贈呈された会員がISRM会員の継続を希望する場合は、会費を納付すること」という条文に変更することとした。またそれに併せ、附則に追記していた「また、本規程の改定は、令和7年度以降の推薦者に対し適用とする。」という箇所を削除することとした。
7. 代議員選挙規程の改定について（資料 2024-理事-04-07）※
「連合会規則」第31条（委員長）と「代議員選挙規程」第4条2間で、選挙管理委員長の選出に関する齟齬があった箇所に関する修正について承認された。
8. 各委員会報告
 - 1) 広報委員会（末永理事）（資料 2024-理事-04-08-1）
岩盤工学基礎講座の準備状況について報告された。講座の開催日は3月18日（火）で、1日で5講座を開催する予定。土木学会岩盤力学委員会において情報共有するため、中島理事へ講座開催案内を提供することとした。また、HP改定に伴う予算を、一時的な支出として基金からの支出にすることについては、次回の理事会の決算の際に、他の基金からの支出と共に一括して審議することとした。
 - 2) 国際技術委員（中島理事）；議題9で議論
 - 3) ジャーナル編集委員会（林理事）（資料 2024-理事-04-08-3）
投稿規程（案）の英文化について報告された。各理事で確認し、英文化された内容にコメントがあれば、理事会後1週間以内に林理事に連絡することとした。
 - 4) 連合会賞選考委員会（岡田副理事長）（資料 2024-理事-04-08-4）
博士論文賞の選考結果が報告された。
連合会賞の公示に関連し、論文賞の受賞対象について、過去にさかのぼって関連する論文も対象とすることが記載されていたため、受賞者の範囲に関し会員から質問があったことが報告された。過去においては業績を総合的に評価していたため、以上のような文言で複数の論文が受賞対象となるケースがあったが、今後は単独の論文を対象とすべき、という意見があった。今年度は複数論文も対象とするが、今後、規則等を見直していくこととなった。

ISRM Award と連合会賞との関係について、ISRM Young Rock Engineer Award に対応する連合会賞がないことから、若手を対象とし、これに対応する賞を設立するという意見が示された。ただ、ISRM Young Rock Engineer Award には「40 歳以下で、5-10 年間、関連する industry で働いていた」という規定を考慮する必要が指摘された。また、連合会のフロンティア賞は対象がやや曖昧であることから、新設した場合やめるか、フロンティア賞（若手技術者賞）という位置づけにするといった意見があった。

今年度の ISRM Technological Innovation Award 2025 に 2 件応募があったが、1 件の応募者は賛助会員ではなかった。この Award は賛助会員でないと応募ができないので、もう 1 件の方を日本から推薦することとした。別に応募中の連合会の技術賞は、個人会員で応募可能で、これを受賞した業績は ISRM の John Hudson Rock Engineering Award に日本から推薦できるので、この技術賞へ賛助会員でない方には応募を勧めることとした。

5) 選挙管理委員会（杉津理事）（資料 2024 理事-04-08-5(1)、(2)）※

選挙管理委員の選出結果が承認された。また、2025, 26 年度の代議員選挙実施要領について報告がなされた。今月 20 日に WEB で公示する予定。

6) 賛助会員会議運営委員会（小川理事）；特になし

7) ILC 研究企画特別委員会（横尾理事）；特になし

8) 活性化企画特別委員会（升元委員）（資料 2024-理事-04-08-8）

第 3 回活性化委員会の議論内容が報告された。ロードマップ 2030 に将来構想 2016 で示された提言の進捗状況、課題を追記し、次回総会までに HP に掲載できる形にすることとした。

9. ISRM Commission on Bio-Rock Mechanics への JSRM のサポートについて（資料 2024-理事-04-09）
（中島理事、林理事）

ISRM の Technical Committee の一つとして Commission on Bio-Rock Mechanics が設立され、琉球大学の松原仁教授が Chair として就任されている。その活動を JSRM としてもサポートすることが ISRM への貢献、新しい研究分野の創成につながるのではないかと提案があった。具体的なサポート案としては、国際技術委員会の下に企画特別委員会として設立することで、活動予算を確保できることが考えられる。また、このような ISRM での活動を国内で周知させるため、岩の力学ニュースに定期的に活動を報告することや電子ジャーナルに掲載することが提案された。さらに、福岡で開催予定の ARMS14 でショートコースやワークショップを開催することで、日本のパフォーマンスを示すことになるのでは、という意見があった。企画特別委員会としての設立に向け、次回理事会には設立趣意書や委員案を提示し、活動費を来年度の予算に組み込めるようにすることとした。

10. 第 16 回岩の力学国内シンポの準備状況（藤井理事）（資料 2024 理事-04-10）

来年 1 月の開催に向け、論文査読が順調に進んでいることが報告された。口頭 85 件、ポスター 2 件の計 87 件の申し込みがあり、基調講演 2 件（熊本大学竹内教授、東北大学伊藤教授）を含め、プログラム案が示された。賛助会員によるイベントを実施するとしたら、初日 1 月 14 日（火）のポスターセッションの時間帯が適切ではないか、という提案がなされた。

11. ARMS14 (2026) の準備状況（三谷理事）（資料 2024 理事-04-11）

2026 年 11 月開催に向けた準備状況が報告された。組織委員会、総務部会、学術部会、国際委員会のメンバー、概略の予算案、全体の行程案が示された。予算については、途上国からの参加に対する補助を ISRM から要請される可能性があることに注意が必要とのコメントがあった。

12. ARMS14 「委員会規則」および「寄附等管理規程」の制定について（三谷理事）（資料 2024-理事-04-11、-12）※

JNTO (Japan National Tourism Organization) を窓口とした寄附金集めを利用するにあたり、組織委員会規則と寄附金管理規程の制定が急ぎ必要であり、それぞれの文案が示された。各理事で内容を確認し、修正等のコメントがあれば、理事会後 1 週間以内に三谷組織委員長、中島事務局長、升元幹事長に連絡することとし、最終確認は組織委員長に一任することとした。

13. 2024 ISRM Council meeting、Asian Council meeting について（資料 2024-理事-04-13）

9 月にインドニューデリーで開催された 2024 ISRM Council Meeting、Asian Council meeting の概要が報告された。

14. CouFrac2024 開催報告（資料 2024-理事-04-14）

11月に京都で開催された第4回 CouFrac2024の概要が報告された。本会議の論文は IJRMMS の Special Issue として出版される予定。

15. 地下空間シンポジウムの後援について（資料 2024-理事-04-15）

来年1月開催の土木学会主催の標記シンポジウムに、連合会が後援することが報告された。

16. その他

過去に連合会が主催した国際シンポジウムや国内シンポジウムの Web サイトが見つからない状態にあり、アーカイブとして連合会のサーバーで管理できる仕組みを作る必要がある、というコメントがあった。学会の資産として重要であるので検討することとした。

次回、対面での理事会は、来年3月7日（金）9時30分～12時@資源素材学会会議室、および福岡の2元開催として実施予定。

以上



理事長：岸田 潔

監事：細野 高康

監事：佐々木 憲司

